

地域計画案 R8.2.27

策定年月日	
更新年月日	— (—)
目標年度	令和12年度
市町村名 (市町村コード)	八百津町 21505
地域名 (地域内農業集落名)	和知地域 (洞、中組、谷、前野、山口、中山、野上下、野上上、大門西、上牧野、上飯田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	123.8 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	122.5 ha
② 田の面積	109.7 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	11.9 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	45.21 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	6.59 ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地域は、町西部に位置する平坦地域であり、昭和40年から60年代の土地改良事業により、圃場整備が行われ、圃場の区画は比較的大きい地域である。木曾川右岸用水が整備されており、水が豊かなため、昔から稲作が盛んであった。
 地域内の農業者は、他地域ほど高齢化は進んでいないが、それでも半数以上が70歳以上で、世代交代が進まず、後継者不足は否めない。
 先祖代々からの農地を受け継いでいる農家が多いため、農機具が個人持ちで小さく古い。買い替えも困難なため、機械が壊れた時点で離農する農家がいる。
 大規模な経営体はおらず、営農組合が約30haの作業受託を受けているが、オペレーター等の高齢化が進んでいる。長年農地を集約してきた農業者が経営規模を縮小する意向により、集積面積が減少することが懸念となっている一方、立地の良い圃場が多いことから、有機農業等の新たな取り組みを行う認定新規就農者が、今後当地域で農地を集積することを期待している。
 一部集落には、**中山間地域等直接支払制度**や多面的機能支払制度を実施している組織があり、耕作放棄地対策に取り組んでいるが、組織の農家が高齢化していることに伴い、今後取り組みを継続できるかが課題である。
 地域内の主な農産物は、水稻、飼料用作物、栗、サツマイモ、露地野菜である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

大規模な面積を作業受託している営農組合があり、小規模な兼業農家でも比較的管理が容易な水稻を中心とした、多様な経営体による農業が可能な地区である。しかしながら、高齢化や後継者不足が課題であるため、**共同作業による負担軽減を進める共に、新たな担い手の確保が必要であるとなってくる**。地域の南部は、**新たな担い手と期待できる**新規の農業者が参入してきており、今後地域の中心として活躍できるように支援する。地域の中心部は、国道より南側にまとまっている農地があり、交通の便も良いことから、**企業等の**多様な経営体の参入により、一団として利用できるような環境を作る。
 パイプラインがある圃場整備された水田では、主食用米を主要品目とし、引き続き、酒米、露地野菜、施設園芸などにより圃場をフル活用していく。山林周辺の農地では、獣害対策も考慮し農地の荒廃を防ぐ作物を検討していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
機械化による基幹作業の共同化が可能な地理状況であるため、小規模でもいいので新たな担い手の確保・育成を行い、農用地の利用を促進していく。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	28 %	将来の目標とする集積率	34 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
比較的平坦で町内では圃場が大きい地域ため、今後集団化ができるような体制を築くことを目標とする。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組									
現在の担い手の耕作意欲の維持・向上のため、JAや県・町が一体となり、生産能力の向上、販路拡大、各種補助事業の活用等のサポートを実施する。また新たな担い手の確保のため、県・JA等の就農相談窓口との情報交換を積極的に実施する。就農希望者が現れた際には、農業委員会や集落の代表者が中心となり、地域の実情に応じた相談を行い、よりスムーズに就農できる態勢を整える。協議の場においては、担い手不在農地への位置付けや、作業効率向上のための農地の交換を目指し、担い手同士の積極的な話し合い・情報交換を行う。									
(2)農地中間管理機構の活用方法									
これまで、地主と担い手の相対による貸借が主であったが、 今後は農地中間管理事業の活用により、担い手の事務負担が少ない貸借を目指す。中間管理事業の活用により利用可能となる遊休農地解消緊急対策事業や機構集積協力金、町の集積化支援補助金を活用し、担い手の支援・集約化を図る。									
(3)基盤整備事業への取組									
営農継続のための農業用排水路や農道の整備改良などを国や県の補助金等を活用して行っていく。大区画が可能な地域での基盤整備を実施し、作業の効率化、就農希望者にとって魅力的な地域を作る。また、基盤整備は地元負担の極力ない形での実施を目指す。									
(4)多様な経営体の確保・育成の取組									
JA、可茂農林事務所、農業委員会等が連携しながら、地域内外から多様な経営体を募集し、相談から定着まで切れ目のない取組を展開する。									
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組									
特に建設事業者において、研修等により農業用機械の操作技術を向上し、幅広い農作業に対応できるようにすると共に、地域の担い手と交流を重ねて気候・土質等の地域性を理解して作業を行えるよう、関係機関が協力し、今後の取組みに向けて検討していく。									
以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)									
<input type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/>	⑩その他
【選択した上記の取組内容】									
多面的機能支払制度等を利用しながら、耕作されない農地を保全・管理していき、公的捕獲や獣害防護柵の設置による鳥獣被害対策を行い、地域内での耕作意欲低下を防ぐ。 新しく有機農業を始めた新規就農者には、今後の担い手として期待する。 ドローンやリモコン草刈り機等のスマート農業技術の活用により、農作業の負担軽減を目指す。									

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 12 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計		59経営体		35.17 ha	0 ha		42.50 ha	0 ha	

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	八百津西部営農組合	植付・収穫等	水稻
2	ミライズ(株)	草刈り、オペレーター	
3	(株)泰新工業	草刈り	
4	(一社)八百津町シルバー人材センター	草刈り(耕作放棄地のみ)	

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和12年度)					
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考	
1	利用者	野上A	水稲等	2.35 ha	0 ha	水稲等	2.07 ha	0 ha	桃横線	野上
2	認農	野上B	水稲等	0.86 ha	0 ha	水稲等	0.63 ha	0 ha	赤	野上
3	利用者	野上C	水稲等	0.77 ha	0 ha	水稲等	0.91 ha	0 ha	紫横線	野上
4	利用者	野上D	水稲等	0.76 ha	0 ha	水稲等	0.80 ha	0 ha	橙	野上
5	利用者	野上E	水稲等	0.62 ha	0 ha	水稲等	0.62 ha	0 ha	黒	野上
6	利用者	野上F	水稲等	0.58 ha	0 ha	水稲等	0.58 ha	0 ha	赤横線	野上
7	利用者	野上G	水稲等	0.56 ha	0 ha	水稲等	0.78 ha	0 ha	茶横線	野上
8	利用者	野上H	水稲等	0.55 ha	0 ha	水稲等	0.55 ha	0 ha	青横線	野上
9	利用者	野上I	露地野菜	0.51 ha	0 ha	露地野菜	0.51 ha	0 ha	黄横線	野上
10	利用者	野上J	水稲等	0.45 ha	0 ha	水稲等	0.44 ha	0 ha	桃	野上
11	利用者	野上K	水稲等	0.36 ha	0 ha	水稲等	0.36 ha	0 ha	茶クロス	野上
12	利用者	野上L	水稲等	0.32 ha	0 ha	水稲等	0.57 ha	0 ha	茶	野上
13	利用者	野上M	水稲等	0.27 ha	0 ha	水稲等	0.52 ha	0 ha	緑横線	野上
14	認就	野上N	水稲等	0.19 ha	0 ha	水稲等	0.19 ha	0 ha	黄	野上
15	利用者	野上O	水稲等	0.18 ha	0 ha	水稲等	0.18 ha	0 ha	水色	野上
16	認就	野上P	露地野菜	0.18 ha	0 ha	露地野菜	1.37 ha	0 ha	青	野上
17	認農	野上Q	水稲等	0.13 ha	0 ha	水稲等	0.39 ha	0 ha	紫	野上
18	利用者	野上R	露地野菜等	0.10 ha	0 ha	露地野菜等	0.10 ha	0 ha	黄クロス	野上
19	利用者	野上S	水稲等	0.07 ha	0 ha	水稲等	0.17 ha	0 ha	青クロス	野上
20	利用者	野上T	水稲等	0.04 ha	0 ha	水稲等	0.04 ha	0 ha	橙クロス	野上
21	農協	野上U	農業施設	0.00 ha	0 ha	農業施設	0.83 ha	0 ha	緑	野上
22	利用者	野上V	果物当	0.00 ha	0 ha	果物等	0.18 ha	0 ha	赤クロス	野上
23	利用者	野上W	水稲等	0.00 ha	0 ha	水稲等	0.16 ha	0 ha	黄緑	野上
24	到達	和知A	水稲等	3.58 ha	0 ha	水稲等	3.53 ha	0 ha	緑横線	和知
25	利用者	和知B	水稲等	2.28 ha	0 ha	水稲等	2.33 ha	0 ha	紫横線	和知
26	利用者	和知C	水稲等	1.92 ha	0 ha	水稲等	2.28 ha	0 ha	黄緑	和知
27	認農	和知D	水稲等	1.36 ha	0 ha	水稲等	1.36 ha	0 ha	紫	和知
28	認農	和知E	水稲等	1.33 ha	0 ha	水稲等	1.93 ha	0 ha	黄クロス	和知
29	利用者	和知F	水稲等	1.14 ha	0 ha	水稲等	1.19 ha	0 ha	赤クロス	和知
30	利用者	和知G	水稲等	0.86 ha	0 ha	水稲等	0.76 ha	0 ha	黒	和知
31	利用者	和知H	水稲等	0.78 ha	0 ha	水稲等	1.09 ha	0 ha	赤紫	和知
32	利用者	和知I	水稲等	0.70 ha	0 ha	水稲等	0.70 ha	0 ha	黒横線	和知
33	利用者	和知J	花卉	0.70 ha	0 ha	花卉	0.70 ha	0 ha	青横線	和知
34	利用者	和知K	水稲等	0.68 ha	0 ha	水稲等	0.63 ha	0 ha	茶横線	和知
35	利用者	和知L	水稲等	0.66 ha	0 ha	水稲等	0.66 ha	0 ha	橙	和知
36	利用者	和知M	水稲等	0.65 ha	0 ha	水稲等	0.65 ha	0 ha	紫クロス	和知
37	利用者	和知N	水稲等	0.63 ha	0 ha	水稲等	0.87 ha	0 ha	緑クロス	和知
38	認農	和知O	水稲等	0.60 ha	0 ha	水稲等	0.60 ha	0 ha	赤	和知
39	利用者	和知P	水稲等	0.58 ha	0 ha	水稲等	0.58 ha	0 ha	赤横線	和知
40	利用者	和知Q	水稲等	0.58 ha	0 ha	水稲等	0.58 ha	0 ha	黄緑横線	和知
41	利用者	和知R	水稲等	0.58 ha	0 ha	水稲等	0.58 ha	0 ha	橙横線	和知
42	利用者	和知S	水稲等	0.57 ha	0 ha	水稲等	1.07 ha	0 ha	水色横線	和知
43	利用者	和知T	水稲等	0.56 ha	0 ha	水稲等	0.58 ha	0 ha	青クロス	和知
44	認就	和知U	水稲等	0.44 ha	0 ha	水稲等	0.92 ha	0 ha	黄	和知
45	利用者	和知V	水稲等	0.37 ha	0 ha	水稲等	0.88 ha	0 ha	桃横線	和知
46	利用者	和知W	水稲等	0.27 ha	0 ha	水稲等	0.27 ha	0 ha	水色	和知

47	利用者	和知X	露地野菜等	0.21 ha	0 ha	水稲等	0.21 ha	0 ha	茶クロス	和知
48	利用者	和知Y	露地野菜等	0.20 ha	0 ha	水稲等	0.20 ha	0 ha	橙クロス	和知
49	利用者	和知Z	露地野菜等	0.17 ha	0 ha	水稲等	0.31 ha	0 ha	水色クロス	和知
50	利用者	和知AA	水稲等	0.12 ha	0 ha	水稲等	0.12 ha	0 ha	桃	和知
51	利用者	和知AB	大豆等	0.08 ha	0 ha	大豆等	0.08 ha	0 ha	桃クロス	和知
52	農協	和知AC	育苗	0.00 ha	0 ha	育苗	0.60 ha	0 ha	緑	和知
53	利用者	和知AD	水稲等	0.00 ha	0 ha	水稲等	0.10 ha	0 ha	茶	和知
54	利用者	上牧野A	水稲等	0.46 ha	0 ha	水稲等	0.46 ha	0 ha	青	上牧野
55	利用者	上飯田A	水稲等	0.88 ha	0 ha	水稲等	0.81 ha	0 ha	青	上飯田
56	利用者	上飯田B	水稲等	0.62 ha	0 ha	水稲等	0.51 ha	0 ha	黄	上飯田
57	利用者	上飯田C	水稲等	0.48 ha	0 ha	水稲等	0.27 ha	0 ha	紫	上飯田
58	利用者	上飯田D	水稲等	0.25 ha	0 ha	水稲等	0.52 ha	0 ha	赤	上飯田
59	利用者	上飯田E	水稲等	0.02 ha	0 ha	水稲等	0.61 ha	0 ha	緑	上飯田